

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 月 日

1 事業名	統計調査事務	コード	165107
-------	--------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 広報情報課	作成者 宮澤 輝
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政 策	総合計画の推進に向けて	施 策	その他
		予算科目	統計調査事務費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	統計グラフコンクールの実施及び統計調査結果の公表に係る事業
目的	対象者 市民・事業所
	意 図 市民・事業所のために、統計調査の結果を提供する。

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計調査関係者の各種表彰推薦事務</li> <li>・第44回岡谷市統計グラフコンクールを実施し、統計思想の普及と啓蒙に努めた。また、入選作品は、ホームページに掲載するとともに、諏訪地区、県、国のコンクールに参加した。</li> <li>・統計調査の結果を報告書として発刊またはホームページへ掲載した。冊子として発刊 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「諏訪地方統計要覧」（平成24年度版）PDFとしてホームページへ掲載</li> <li>・「岡谷市の学校現況」（平成25年度学校基本調査結果）</li> <li>・「岡谷市の人口」（平成25年毎月人口異動報告結果）</li> <li>・「岡谷の工業」（平成24年経済センサス活動調査結果）</li> </ul> </li> </ul>
前年度の課題への対応	統計グラフコンクールの実施や各種統計調査結果等をホームページ等で広く公開し、統計に対する意識高揚に努めた。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	講習会開催回数			単位 回
実績値	1	1	1	
*指標の説明	統計グラフコンクール書き方講習会の開催回数			
② 成果指標（指標名）	応募点数			単位 点
目標値	27	26	28	34
実績値	21	36	75	
達成度	77.8%	138.5%	267.9%	
*指標の説明	統計グラフコンクールの応募点数			
*目標値の設定方法の説明	過去5年の実績値の平均値（H22年度見直し）			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	428,654	402,026	456,815	467,000
経常経費	428,654	402,026	433,015	443,000
臨時的経費	0	0	23,800	24,000
* 臨時的経費の説明	統計研修参加費用			

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
正規職員の人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15
③ 合計コスト(①+②)	1,628,654	1,602,026	1,656,815	1,667,000
前年度比		98.4%	103.4%	100.6%
財源	1,615,614	1,578,291	1,653,095	1,667,000
一般財源				
内訳	13,040	23,735	3,720	
特定財源				
* 特定財源の説明	統計書籍等の頒布収入			
④ 活動一単位あたりコスト	1,628,654	1,602,026	1,633,015	
前年度比		98.4%	101.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	208.3%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	267.9%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 個人情報保護に対する意識の高まりやライフスタイルの多様化により、調査環境が厳しくなっている。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 統計グラフコンクールの実施や、入選作品のホームページ等への公開を行う。また、統計調査結果を公開し統計調査に対する意識高揚に努める。	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--